

高度実践看護学演習

[講義・実習] 1年～2年 前後期 選択 30時間 2単位

《担当者名》○塚本 容子(デ) [yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

本講義では、ナースプラクティショナー（NP）としてプライマリ・ケアの現場で活動する場面を想定しつつ、循環器疾患，特にショック状態、心筋梗塞、心不全等を有する患者のマネジメントについて学修する。前述の疾患の病態生理を踏まえ、薬物療法に焦点を当て事例を基に実践的な知識を養う。循環器疾患における薬剤アドヒアランスは重要であることから、患者の生活背景を考慮した適切な薬剤選択について学修しながら、NPとしての役割を検討する。

【学修目標】

1. 循環器疾患を取り巻く現状と課題を理解し、NPとしての役割を考察できる。
2. 循環器疾患について病態生理を理解し、薬物の作用機序について説明できる。
3. ショック状態にある患者のアセスメント及びマネジメントを事例から検討できる。
4. 心筋梗塞患者のアセスメント及びマネジメントを事例から検討できる。
5. 心不全患者のアセスメント及びマネジメントを事例から検討できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	プライマリ・ケアにおける循環器疾患	【対面講義】 ・循環器疾患を取り巻く現状と課題 ・循環器疾患におけるプライマリ・ケアNPの役割	塚本
2 3 4	循環器疾患を持つ患者のアセスメント	【Web-Learning】 以下の内容についての動画を視聴し、与えられた課題を行う。 1. 循環動態に関する局所解剖 2. 循環動態に関する主要症候 3. 循環動態の薬物療法を必要とする主要疾患の病態生理 4. 循環動態の薬物療法を必要とする主要疾患のフィジカルアセスメント 5. 輸液療法の目的と種類 6. 病態に応じた輸液療法の適応と禁忌 動画視聴：180分 課題レポート：90分	塚本
5	ショック状態にある患者のマネジメント：事例検討	【対面講義】 事例を基に、以下の内容を演習形式で行う。 ・ショック状態にある患者の症状と徴候のアセスメント ・ショックの臨床的評価 ・マネジメント	塚本
6 7	心不全患者のマネジメント：事例検討	【対面講義】 事例を基に、以下の内容を演習形式で行う。 ・ショック状態にある患者の症状と徴候のアセスメント ・ショックの臨床的評価 ・マネジメント	山本 匡（特別講師） 塚本
8 9	循環器疾患のマネジメント：薬物療法	【Web-Learning】 指定された動画を視聴し与えられた課題を行う。 ・カテコラミン、ナトリウム、降圧剤の循環器疾患に関連した作用機序と副作用 動画視聴：120分 課題レポート：60分	塚本
10 11	心筋梗塞患者のマネジメント：事例検討	【対面講義】 事例を基に、以下の内容を演習形式で行う。 ・心筋梗塞患者の症状と徴候のアセスメント ・心筋梗塞患者の検査 ・心筋梗塞患者のマネジメント	塚本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・心筋梗塞患者の急性期後の心理社会的支援と薬物療法に関するアドヒアランスの関係	
12	脱水と循環動態を安定させるための輸液療法	【Web-Learning】 指定された動画を視聴し与えられた課題を行う。 ・脱水のアセスメント ・脱水補正のための糖質・電解質を含む輸液療法 動画視聴：60分 課題レポート：30分	塚本
13	脱水と循環動態を安定させるための輸液療法：事例検討	【演習】 事例を基に、以下の内容を演習形式で行う。 ・脱水のアセスメント ・脱水に至るリスク要因について ・脱水補正のための輸液療法と循環動態の評価	塚本
14	心不全患者のマネジメント：利尿剤	【Web-Learning】 指定された動画を視聴し与えられた課題を行う。 ・利尿剤の作用機序 ・利尿剤と心不全 動画視聴：60分 課題レポート：30分	塚本
15	心不全患者のマネジメント：事例検討	【演習】 事例を基に、以下の内容を演習形式で行う。 ・うっ血性心不全患者のアセスメント ・うっ血性患者への利尿剤投与の判断	塚本

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

筆記試験50%、事例検討についてのレポート50%にて評価する

【教科書】

適宜提示する。

【参考書】

2021年 JCS/JHFS ガイドライン フォーカスアップデート版急性・慢性心不全診療（2021）. 日本循環器学会 / 日本心不全学会
合同ガイドライン <https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2021/03/JCS2021_Tsutsui.pdf>

【学修の準備】

必要な文献・資料を熟読しておくこと

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。